



タイトル

『平成29年中におけるつくば市の火災・救急』の概要について

項目(あてはまるものすべてにチェック)

- イベント・会議等の事前周知依頼
  イベント・会議等の取材依頼  
 イベント会議以外の事業の周知依頼
  参加者募集の告知依頼  
 その他

全6枚(本紙含む)

<概要> 平成29年中におけるつくば市の火災・救急の概要を公表します。

1 火災の状況

年 別		平成29年	平成28年	増 減
出 火 件 数		74件	65件	9件
火 災 種 別	建 物 火 災	40件	32件	8件
	林 野 火 災	4件	3件	1件
	車 両 火 災	8件	7件	1件
	その他の火災	22件	23件	△ 1件
死 者		4人	0人	4人
負 傷 者		6人	15人	△ 9人

	平成29年		平成28年	
第1位	放火及び放火の疑い	8件	電気配線類	11件
第2位	たばこ	6件	放火及び放火の疑い	7件
第3位	こんろ	5件	たばこ	6件

2 救急の状況

区 分	平成29年	平成28年	増 減	
出 場 件 数	9,041件	8,775件	266件	
搬 送 人 員	8,475人	8,266人	209人	
救 急 種 別	急 病	5,420件	5,225件	195件
	交 通 事 故	1,104件	1,128件	△ 24件
	一 般 負 傷	1,102件	1,042件	60件
	そ の 他	1,415件	1,380件	35件

3 要約

平成29年中の出火件数は74件で、平成28年より9件増加しているが、過去10年間の平均出火件数は概ね90件であり、減少傾向となっている。なお、出火原因は「放火及び放火の疑い」が多く、全国的に見ても放火及び放火の疑いが上位を占めている。

救急については、人口の増加に伴い救急出場件数が伸びており、高齢者の搬送人員が増加傾向にある。

## 平成29年中の火災概要

## 1 火災概況

区 分	平成29年	平成28年	比較増△減
出火件数	74	65	9
建物火災	40	32	8
林野火災	4	3	1
車両火災	8	7	1
その他の火災	22	23	△ 1
焼損棟数	55	35	20
全焼	13	2	11
半焼	2	3	△ 1
部分焼	40	30	10
損害額(単位：千円)	418,951	64,668	354,283
建物火災	416,659	39,581	377,078
林野火災	0	0	0
車両火災	505	23,167	△ 22,662
その他の火災	1,787	1,920	△ 133
建物焼損(m <sup>2</sup> )	3,685.28	287.00	3,398.28
林野焼損(a)	15.55	4.00	11.55
死者	4	0	4
負傷者	6	15	△ 9
出火率(件/万人)	3.2	2.8	0.4

## 備考

- 1 損害額及び焼損面積については、調査中のものを除いた数値とする。
- 2 統計対象を整合させるため、平成29年におけるぼや(26件)を部分焼に含む。
- 3 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

## 2 平成 29 年中の出火原因

順位	原因	件数
1	放火及び放火の疑い	8件
2	たばこ	6件
3	こんろ	5件
4	電気配線類	4件
5	ストーブ	2件
	その他	24件
	不明	25件
合計		74件

※放火の疑いとは、付近に火災の発火源となるものがなく、何者かが放火しなければ発生しないと認められるが、状況証拠がない場合をいう。

## 3 過去 3 年間の主な出火原因

順位 年・件数	1位	2位	3位	4位	5位
平成 29 年 総件数 74件	放火及び 放火の疑い	たばこ	こんろ	電気配線類	ストーブ
	8件	6件	5件	4件	2件
平成 28 年 総件数 65件	電気配線類	放火及び 放火の疑い	たばこ	こんろ	マッチ・ ライター等
	11件	7件	6件	3件	2件
平成 27 年 総件数 78件	放火及び 放火の疑い	こんろ	電気配線類	マッチ・ ライター等	たき火
	17件	4件	4件	4件	3件

## 平成 29 年中の救急概要

### 1 事故種別出場件数及び搬送人員

区分 出場件数 搬送人員	事故種別													
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
											転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
出場件数	42	0	2	1,104	91	84	1,102	44	80	5,420	932	15	1	124
9,041														
搬送人員	4	0	1	1,155	91	80	1,047	32	50	5,075	932	0	0	8
8,475														

### 2 事故種別・傷病程度別搬送人員

傷病程度 事故種別	傷病程度					合計
	軽症	中等症	重症	死亡	その他	
急病	2,225	2,305	483	62	0	5,075
交通	823	287	40	3	2	1,155
一般負傷	563	442	38	4	0	1,047
転院搬送	66	607	258	1	0	932
上記以外の種別	136	95	28	6	1	266
合計	3,813	3,736	847	76	3	8,475

※ 軽 症：入院の必要なし

中等症：3週間未満の入院

重 症：3週間以上の入院

死 亡：医師が死亡と判断した者

その他：医師の診断がつかないか、傷病程度が判明しない又は、医療機関以外の場所に搬送したもの。

### 3 年齢区分別搬送人員の増減数

年齢区分	搬送人員		前年比増加数	29年年齢別 搬送人員割合
	29年中	28年中		
合計	8,475	8,266	209	100%
高齢者	4,127	3,830	297	48.7%
成人	3,399	3,522	△123	40.1%
少年	419	372	47	5.0%
乳幼児	467	479	△12	5.5%
新生児	63	63	0	0.7%

※ 新生児：出生後28日未満の乳児

乳幼児：出生後28日以上6歳未満の者

少年：6歳以上18歳未満の者

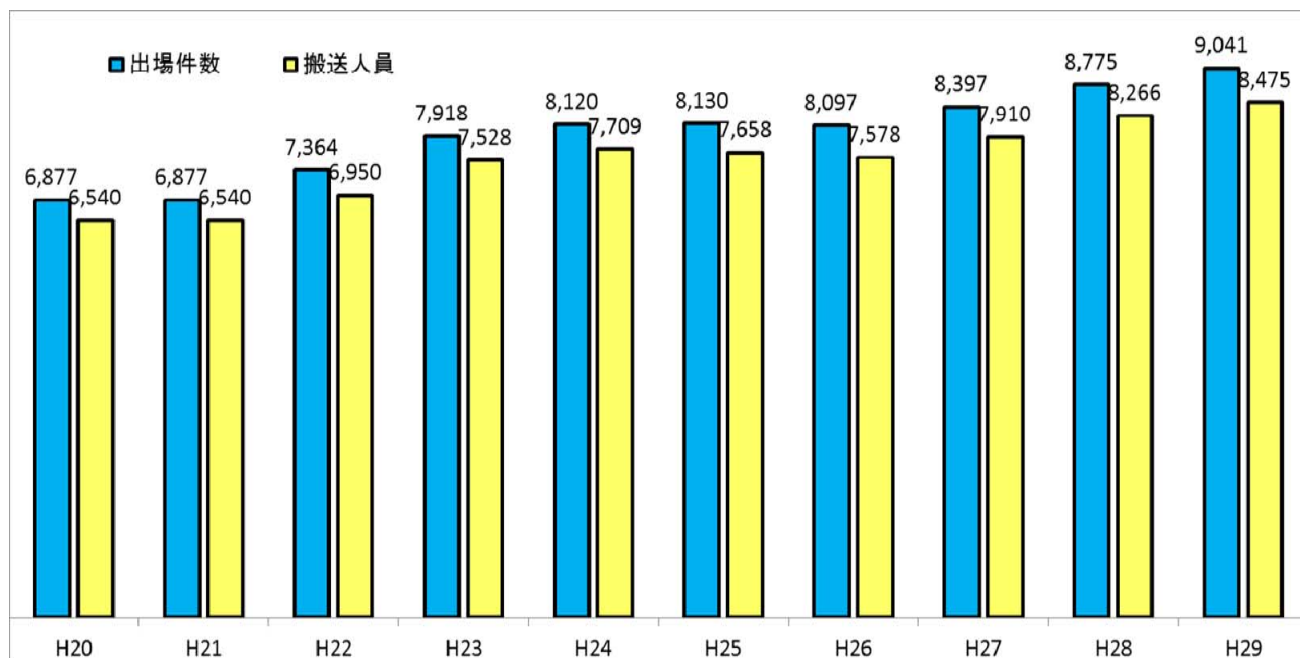
成人：18歳以上65歳未満の者

高齢者：65歳以上の者

### 4 署別救急出場状況

署名	出場件数	件数	割合(%)	搬送人員
			9,041件	100%
中央消防署		1,925件	21.3%	1,783人
中央消防署豊里分署		679件	7.5%	632人
中央消防署桜分署		1,178件	13.0%	1,057人
中央消防署並木分署		1,350件	15.0%	1,260人
北消防署		1,050件	11.6%	1,004人
北消防署筑波分署		443件	4.9%	416人
南消防署		1,533件	17.0%	1,477人
南消防署荃崎分署		883件	9.7%	846人

## 5 過去10年間の救急出場件数



年 別	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
出場件数	6,877	6,877	7,364	7,918	8,120	8,130	8,097	8,397	8,775	9,041
搬送人員	6,540	6,540	6,950	7,528	7,709	7,658	7,578	7,910	8,266	8,475
人 口	210,032	212,440	216,052	216,175	217,919	219,804	221,357	227,679	231,093	234,348

※ 人口は、毎年12月1日の常住人口を記載